

平成 23 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中 央 区

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定
に基づき、平成23年度における主要な施策の成果説明書を
提出します。

平成24年9月21日

中央区長 矢田 美英

主要な施策の成果について

本区の人口は、平成23年11月、42年ぶりに定住人口12万人を回復しました。人口構成は30歳代から40歳代が中心となり、出生数も2年連続で年間1,400人を超えるなど、本区では乳幼児人口の増加が続いています。

一方、人口増や人口構成の変化に伴い、子育て支援の充実や高齢者福祉施策の一層の強化が求められるとともに、本区のにぎわいを支える区内中小企業への支援などの景気対策、待ったなしの地球温暖化対策など、各分野にわたる様々な行政課題にも対応していかなければなりません。さらに、東日本大震災の教訓を踏まえた帰宅困難者対策や高層住宅における防災対策など、都心である本区の特성에対応した防災力の向上も喫緊の課題です。

こうした状況の下、平成23年度においては「基本計画2008」に掲げた「10年後の中央区」の実現に向け、「中央区から元気を発信！」をテーマに、都心から景気回復を先導するための取組や、質の高い快適な都心居住を推進するための各種施策の充実・強化を図りました。特に、記録的な円高や消費低迷の影響を受け、商工業融資の充実をはじめとする中小企業対策や、商店街のにぎわいづくりへの支援、若年者や高齢者の雇用対策の充実など「景気回復」施策と「命と健康を守る」ための各種健診体制の充実や予防接種費用助成の拡充などの予防対策に重点的に取り組みました。さらに、東日本大震災を踏まえて補正予算を編成し、地域防災体制の一層の強化、建築物の耐震改修助成の拡充、原子力発電所事故による電力危機を新たな契機とした創エネルギーの推進、被災地の復興支援事業など、安心して暮らせるまちの実現に取り組みつつ、にぎわいの創出を図ることで、都心中央区から元気を発信しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成23年度 主要な施策一覧

事業 (網かけは新規事業)	決算額(千円)	頁
1 思いやりのある安心できるまちをめざして		
○ 生涯をいきいきと暮らすために		
* 保健医療		
(1) 母子健康診査	150,183	6
(2) 母子保健指導	16,072	6
(3) 予防接種	188,935	6
(4) がん検診	417,637	7
(5) 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成	21,747	8
(6) 成人歯科健康診査	55,281	8
(7) 自殺総合対策推進事業	2,003	8
(8) 特定不妊治療医療費助成	6,661	8
* 障害者福祉		
(1) 新設知的障害者グループホームへの施設整備費助成	5,544	9
(2) 「生活支援ノート」の作成	1,645	9
(3) 障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付け	470	9
(4) 障害者日中活動系サービス施設運営費助成	16,031	9
(5) 障害児一時預かり事業の実施	16,292	10
* 高齢者福祉		
(1) さわやか体操リーダーの育成	339	10
(2) 高年齢者合同就職面接会	142	10
(3) 高齢者雇用促進支援事業	2,200	11
(4) 元気高齢者人材バンク	2,237	11
(5) おとしより相談センターの機能強化	123,400	11
(6) 介護予防事業	27,115	12
(7) 地域見守り事業支援	1,074	12
(8) 在宅療養支援	19,830	13
(9) 高齢者あんしんコール事業	11,718	13
(10) 緊急通報システム	4,246	14
(11) 高齢者食事サービス	26,159	14
(12) ひとり暮らし高齢者実態調査	9,206	14
(13) 災害時地域たすけあい名簿	602	15
(14) 地域密着型特別養護老人ホーム等複合施設の整備	122,640	15
(15) 介護サービス事業者に対する看護師等雇用補助	35,621	15
(16) 巡回型ホームヘルプサービス	70,906	15
(17) 高齢者生活援助サービス	7,882	16
(18) 高齢者の住宅への家具類転倒防止器具の取付け	4,508	16
(19) 敬老館におけるサービスの充実	181,856	16
(20) 敬老買物券等の贈呈	100,928	16
(21) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導	12,578	16
○ 健やかな子どもを育むために		
* 子育て・青少年健全育成		
(1) 晴海児童館等複合施設の整備	652,200	17
(2) 私立認可保育所への運営費助成	723,487	17
(3) 新設認証保育所への開設準備経費補助	52,457	17
(4) 認可外保育施設保育料の助成	156,000	18
(5) 子どもショートステイ	6,488	18
(6) 一時預かり保育	56,440	18
(7) 子ども医療費助成	459,961	19
(8) 出産支援事業	94,537	19
(9) 学校給食における食材料費補助	13,752	19
(10) 子どもの居場所づくりの推進	168,326	20
○ 思いやりとふれあいのあるまちのために		
* 福祉のまちづくり		
(1) 鉄道駅エレベーター等整備費補助	46,265	21
* 男女共同参画		
(1) ブーケ祭り10周年記念事業	1,214	21
(2) 「ブーケ21」女性相談の充実	5,213	21

平成23年度 主要な施策一覧

事業 (網かけは新規事業)	決算額(千円)	頁
2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして		
○ 住みやすい環境づくり		
* 住宅・住環境		
(1) 「すまいるコミュニティ」の運用	—	22
* 公園・緑地・水辺		
(1) 民間施設の緑化推進	9,506	22
(2) 公共施設の緑化推進	23,291	22
(3) 校庭・園庭の芝生化	2,412	23
(4) 水の都プロジェクトの推進	216,237	23
(5) 水辺空間活用にぎわい創出事業補助	20,000	24
(6) 公園・児童公園の改修	14,070	24
○ 地球にやさしい環境づくり		
* 環境保全		
(1) 中央区エコタウン構想の策定	14,536	25
(2) 中央区子ども環境サミットの開催	1,875	25
(3) 家庭の省エネ「見える化」の推進	1,571	25
(4) 未利用エネルギーに関する調査	4,988	26
(5) 環境経営認証取得費助成	830	26
(6) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備	4,930	26
(7) 中央区の森環境ふれあい村構想の推進	5,381	27
(8) 低公害車の普及促進	3,837	27
(9) 公衆浴場のクリーンエネルギー化補助	1,600	27
(10) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成	29,556	28
(11) 公園灯のLED化	7,088	28
(12) 地域クリーンパトロールの展開	34,467	28
* 循環型社会		
(1) リサイクル事業の普及・啓発	2,210	29
(2) 資源再利用(リサイクル)の推進	524,199	29
(3) 資源持ち去り防止対策	9,852	30
(4) 土のリサイクルの本格実施	3,448	30
○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり		
* 道路・交通		
(1) 街路環境(シンボルロード)の整備	71,329	30
(2) 人にやさしい歩行環境の整備	84,121	31
(3) 環境にやさしい道路の整備	103,115	31
(4) にぎわいのある道路の整備	109,221	32
(5) 電線共同溝の整備	220,222	32
(6) 橋りょうの架替	149,713	33
(7) 橋りょう長寿命化修繕工事	41,697	33
(8) 小田原橋の撤去	4,316	33
(9) 基幹的交通システム導入に関する調査	14,984	33
(10) コミュニティバス「江戸バス」の運行	102,394	34
* 防災・危機管理		
(1) 地域防災フェア	48,730	34
(2) 防災拠点運営委員会訓練	14,087	35
(3) 防災拠点運営委員会への支援	10,168	35
(4) 高層住宅防災対策	5,515	35
(5) 住宅・建築物耐震改修等支援事業	277,455	36
(6) 公衆浴場の耐震化等補助	970	36
(7) 橋りょうの健全度調査	10,168	37
(8) 災害時対応型公衆便所の整備	39,486	37
(9) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対策助成	3,085	37
(10) 共同住宅等生活安全(防犯)アドバイザーの派遣と防犯設備整備費助成	1,466	38
(11) 安全・安心メールの配信	1,638	38
(12) 安全・安心ハンドブックの改訂	3,418	38
(13) 帰宅困難者対策協議会(仮称)設立支援	2,615	38
(14) 中央区業務継続計画(地震編)の策定	2,457	38
(15) 区内事業所の震災時の対応等調査	3,980	39
(16) マンション防災対策自己点検調査支援	4,116	39
(17) 防災資器材備蓄の充実(防災資器材等の管理)	40,167	39
(18) コミュニティFMを活用した緊急情報の提供	44,096	40
* 地域整備		
(1) 市街地再開発事業助成	3,417,400	40
(2) 都市再生土地区画整理事業助成	10,000	40
(3) 日本橋再生推進協議会の運営と名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋川再生に向けたまちづくり調査	8,909	40

平成23年度 主要な施策一覧

事業 (網かけは新規事業)	決算額(千円)	頁
3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして		
○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり		
* 商店街振興		
(1) 商店街支援事業補助	315,278	42
(2) 観光商業まつり	61,780	43
(3) 名橋「日本橋」架橋100周年記念事業費補助	20,000	43
(4) 中央区商店街連合会60周年記念事業助成	20,000	43
(5) 共通買物券の発行	581,439	44
(6) 地域通貨基礎調査	4,998	44
* 産業振興		
(1) 日本橋問屋街活性化事業支援	6,000	44
(2) 中小企業販路拡大支援	3,423	44
(3) 商工業融資	3,120,776	45
(4) 若年者合同就職面接会	243	46
(5) 職業相談・就職ミニ面接会	417	46
(6) 雇用促進奨励金	500	46
* 観光		
(1) 「中央区観光振興ビジョン2012」の策定	22,313	47
(2) 中央区観光検定	10,465	47
(3) 船着場の整備および管理運営	26,228	48
○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり		
* 学校教育		
(1) 学習力サポートテスト	24,961	49
(2) 小学校の学力向上対策	63,656	49
(3) 中学校の学力向上対策	71,176	49
(4) 英語教育の推進	74,034	50
(5) 授業力向上システムの構築	674	50
(6) 健康教育の推進	54,237	50
(7) 教育相談体制の強化	51,286	51
(8) 特別支援教育への対応	114,186	51
(9) 小学校・幼稚園の改築	2,163,640	52
(10) 復興小学校の記録保存	8,495	53
(11) スクールバスの運行	10,182	53
* 生涯学習・スポーツ		
(1) 地域スポーツクラブの設立支援	76	53
○ 文化の香る交流のまちづくり		
* コミュニティ		
(1) 地域手づくりイベント推進助成	30,965	54
(2) 大江戸まつり盆おどり大会	39,933	54
(3) 協働提案事業	2,298	55
(4) 区民還暦祝い事業	8,000	55
* 文化振興		
(1) 中央区まるごとミュージアム	32,773	56
(2) 文化事業助成	4,493	56
(3) まちかど展示館	2,252	56
(4) 区内に現存する近代建築物に関する調査	5,965	57
(5) 子ども向け文化・歴史読本の作成	7,319	57
(6) 郷土天文館「タイムドーム明石」収蔵品データベースの公開	8,802	57
* 国際・地域間交流		
(1) 東根市友好都市提携20周年記念事業	1,556	57
(2) サザランド市姉妹都市提携20周年記念事業	23,743	57
* 平和		
(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い	9,177	58
(2) 映像による戦災体験等の証言データ収集	1,366	58
(3) 平和モニユメントの設置	6,102	59

平成23年度 主要な施策一覧

事業 (網かけは新規事業)	決算額(千円)	頁
4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進		
○ 新たな課題への対応		
(1) 地上デジタルテレビ放送への移行対策	144,902	60
(2) 地デジアンテナ設置費助成	2,678	60
(3) 「区のおしらせ中央」および「区議会だより」のコンビニエンスストア・地下鉄駅での配布	129	60
(4) 「労働スクエア東京」跡地複合施設整備	69,123	60
○ 緊急な課題への対応		
(1) 緊急雇用創出事業	86,981	61
① 企業におけるワーク・ライフ・バランス推進調査	3,833	61
② 商店街周遊マップの作成	19,018	61
③ 未就職学卒者の就労支援事業	48,921	61
④ 路上弁当販売監視指導	6,175	61
⑤ 駅周辺等放置自転車の整理	7,175	62
⑥ 街路樹点検調査	1,859	62
(2) 東日本大震災被災地への支援	63,329	62
(3) 震災被災者への就労支援等	4,409	63
(4) 築地場外市場地区における被災地復興支援事業に対する助成	18,694	63
(5) 区内共通飲食券事業補助	64,465	63
(6) 復興支援イベント補助	35,807	63
(7) 放射線環境測定調査	6,656	64
(8) 柏学園放射性物質除染工事	107,625	65
(9) 区施設における太陽光発電設備の設置および設置検討調査	26,933	65
○ 電子区役所の推進		
(1) デジタルサイネージの試行導入	1,804	66
○ 区施設の改修等		
(1) 中央会館「銀座ブロッサム」	38,745	66
(2) 浜町会館	170,323	66
(3) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」	63,000	66

計 165事業 (うち新規53事業)

1 思いやりのある安心できるまちをめざして

○ 生涯をいきいきと暮らすために

* 保健医療

(1) 母子健康診査 [決算額 150,183千円]

母親の健康を守り母子感染を防ぐため、妊婦健康診査に「HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）」検査を追加した。また、妊娠届出時に、区の子育て支援等について分かりやすくまとめた小冊子「親子すくすく手帳」を母子健康手帳とともに配布した。

妊婦健康診査件数 延18,980件

親子すくすく手帳交付件数 1,675件

(2) 母子保健指導 [決算額 16,072千円]

ア 母親学級

参加者の増加に対応するため、土曜日の母親学級（1日制）の開催回数を3回から5回に増やして、平日に参加できない働く妊婦の妊娠中の不安解消、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を行った。

参加者数 延774人

イ 両親学級

参加者の増加に対応するため、土曜日の両親学級の開催回数（1日制）を14回から16回に増やして、夫婦が協力して出産や子育てをしていけるよう支援した。

参加者数 753人

ウ 新生児等訪問指導

育児不安の解消等を図るため、保健師・助産師が訪問し、新生児の発達・授乳・病気の予防などの育児について相談を行った。

訪問件数 1,139件

(3) 予防接種 [決算額 188,935千円]

ア 小児用肺炎球菌ワクチン

乳幼児の髄膜炎等を予防するため、「小児用肺炎球菌ワクチン」接種費用の全額相当の助成を新たに実施した。

助成対象者 生後2カ月～9歳

助成者数 延9,008人

イ Hibワクチン

乳幼児の髄膜炎等を予防するため「ヘモフィルスインフルエンザ菌b型（Hib）ワクチン」接種費用の助成額を半額相当から全額相当に拡大した。

助成対象者 生後2カ月～4歳

助成者数 延6,132人

ウ 日本脳炎ワクチン

積極的勧奨の再開に伴い勧奨対象者を拡大して実施した。

接種者数 延4,689人

(4) がん検診

[決算額 417,637千円]

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。乳がん・子宮がん検診については、受診対象者と受診券の個別発送対象年齢を拡大するとともに、乳がん検診における40～50歳代の未受診者には、受診の再勧奨を行った。

また、国の「がん検診推進事業」を、平成22年度に引続き実施した。

受診者数	・胃がん検診	10,235人
	・大腸がん検診	14,256人
	・子宮がん検診	7,546人（区 6,172人 国 1,374人）
	・乳がん検診	4,898人（区 4,005人 国 893人）
	・肺疾患（肺がん等）検診	15,435人
	・前立腺がん検診	4,277人

*乳がん検診

	変更前	変更後
受診対象者	・ 40歳以上の偶数歳の女性	・ 36歳以上の偶数歳の女性 ・ 41歳以上の奇数歳で前年度受診していない女性
個別発送対象者	・ 40歳～60歳の偶数歳の女性 ・ 70歳の女性	・ 36歳～78歳の偶数歳の女性

*子宮がん検診

	変更前	変更後
受診対象者	・ 20歳以上の偶数歳の女性	・ 20歳以上の偶数歳の女性 ・ 21歳以上の奇数歳で前年度受診していない女性
個別発送対象者	・ 20歳～60歳の偶数歳の女性 ・ 70歳の女性	・ 20歳～78歳の偶数歳の女性

(5) 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成 [決算額 21,747千円]

子宮頸がんの主な原因となる「ヒトパピローマウイルス」の感染防止のため、中学1年生から高校3年生までを対象に、接種費用の全額助成を行った。

助成者数 延1,122人

(6) 成人歯科健康診査 [決算額 55,281千円]

成人歯科健康診査の受診対象者を拡大して、歯周疾患の早期発見と予防指導を行った。

受診者数 5,301人

	変更前	変更後
受診対象者	・30歳～70歳の5歳ごとの節目にあたる方	・30歳～70歳の偶数歳の方

(7) 自殺総合対策推進事業 [決算額 2,003千円]

ア 健康福祉まつり・健康増進フェア

こころの健康づくり（うつ病・自殺予防）のコーナーを設置し、うつおよび自殺に対する正しい知識やストレス解消方法を周知した。

イ 東京都自殺予防月間（9月・3月）

懸垂幕等の掲出（中央区保健所）、街頭キャンペーン（区内3カ所）、パネル展示（区施設4カ所）、ポスター掲示（区施設）を行い、自殺に対する正しい理解の推進と、要因となるこころの悩み・多重債務・労働問題等の各種相談窓口を周知した。

ウ ゲートキーパー養成講座

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ、見守るゲートキーパーの養成講座を実施した。

開催数 2回

参加者数 150人

(8) 特定不妊治療医療費助成 [決算額 6,661千円]

特定不妊治療（体外受精および顕微授精）の保険適用外医療費の一部を助成し、不妊治療への経済的負担の軽減を図った。

助成金額 1年度あたり10万円（最大通算5年度まで）

助成者数 70人

* 障害者福祉

(1) 新設知的障害者グループホームへの施設整備費助成 [決算額 5,544千円]

知的障害者に一定期間生活の場を提供し、日常生活における指導訓練等を行うとともに地域社会への参加、自立促進を目的としたグループホームを新たに開設・運営する事業者に対し、施設整備費を助成した。

対象施設 グループホーム「浜町 花だより」

運営事業者 株式会社静文堂

入居定員 7人

開設日 平成24年2月14日

(2) 「生活支援ノート」の作成 [決算額 1,645千円]

障害のある方が、障害の種別にかかわらず、乳幼児期から学齢期、成人までの途切れのない一貫した支援を受けるために、また緊急時や災害時、医療機関の受診などでも利用できるように、ライフサイクルを通して医療、教育、福祉サービス等の情報を記入できる「生活支援ノート」を作成した。

(3) 障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付け [決算額 470千円]

家具類の転倒を防止し、生命の安全と財産の保全を図ることを目的として、一定以上の障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付けを行った。

平成23年度は「地域防災フェア」においても、本事業の周知・受付を行った。

費用負担 4個までは器具および取付費用無料

設置者数 17人

器具取付個数 59個

(4) 障害者日中活動系サービス施設運営費助成 [決算額 16,031千円]

障害者の就労移行支援事業および就労継続支援事業を実施する施設が区内に移転・開設をしたことに伴い、施設運営費の一部を助成した。

対象施設 クローバーズ・ピア日本橋

運営事業者 社会福祉法人 信和会

開設日 平成23年8月1日

(5) 障害児一時預かり事業の実施 [決算額 16,292千円]

放課後や夏休み等における障害児の居場所の確保を図るため、就学している障害児の一時預かりを平成23年7月21日から実施した。

対象者	区内在住の小学生から高校生までの障害児	
利用定員	1日7人	
場 所	福祉センター	
利用料	無料（昼食・おやつ代等については、実費を徴収する。）	
実施日	月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く。）	
利用時間	平日（学校の授業実施期間）	正午～午後5時
	夏休み、冬休み、春休み等（学校の休業日）	午前9時～午後5時
利用状況	登録者	26名
	開設日数	170日
	延利用者数	565人

* 高齢者福祉

(1) さわやか体操リーダーの育成 [決算額 339千円]

区主催または自らが開催する体操教室において、体操の指導等を行うリーダーを養成するため、中央区さわやか体操リーダー育成講座（初級編5日間・上級編5日間）を実施した。

リーダー登録者	2人
上級編進級者	9人

(2) 高年齢者合同就職面接会 [決算額 142千円]

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、高年齢者と求人を希望する区内を中心とした企業との合同就職面接会を中央区地域雇用問題連絡会議（中央区・社会福祉法人中央区社会福祉協議会・公益社団法人中央区シルバー人材センターほか）の主催により開催した。

開催日	平成24年2月27日
場 所	区役所大会議室
参加企業	15社
参加者数	172人

(3) 高齢者雇用促進支援事業 [決算額 2,200千円]

働く意欲のある高齢者が、培った知識や経験を生かして、いつまでも働ける就労環境の整備を推進するため、高齢者雇用促進奨励金を交付した。

ア 高齢者雇用制度導入奨励金

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が行う「中小企業定年引上げ等奨励金」の支給決定を受けた事業主に対して奨励金を交付した。

交付額 1事業主あたり10万円

交付件数 18件

イ 高齢者雇用企業奨励金

無料職業紹介所「シルバーワーク中央」またはハローワークの紹介により、65歳以上の区民を1年以上継続して雇用した事業主に対して奨励金を交付した。

交付額 週20時間以上30時間未満の雇用契約の場合 5万円

週30時間以上の雇用契約の場合 10万円

交付件数 5件

(4) 元気高齢者人材バンク [決算額 2,237千円]

地域社会貢献活動に高齢者の豊かな経験や知識を生かせるよう、「元気高齢者人材バンク」として人材登録を行うとともに、ボランティア活動等のマッチング、イベントの実施、ホームページや情報誌による情報発信等を行い、高齢者の社会参加の促進を図った。

登録者数 83人

活動件数 64件

活動者数 延617人

(5) おとしより相談センターの機能強化 [決算額 123,400千円]

地域見守りネットワークの核となる「おとしより相談センター」（京橋・日本橋・月島の3地域に設置）の職員を各1人ずつ増員し、地域との連携強化を図るとともに、マイホームはるみ内介護事業所のコールセンターの活用により24時間365日の緊急時見守り体制を整えた。

相談件数 14,162件

介護に関する出前講座 41回

地域ケア会議開催回数 20回

(6) 介護予防事業

[決算額 27,115千円]

生活機能評価の結果に基づき、要介護状態になるおそれのある高齢者に対して運動機能低下や低栄養などに応じた身体機能向上プログラムを実施した。

ア 筋力アップ教室

マシンを使った運動機能の向上プログラムを実施した。

場 所 中央区保健所（送迎あり）

定 員 10名（3カ月コース 週2回 年3回実施）

開催回数 72回

参加者数 27人

イ 介護予防サロン「はつらつ」

運動機能維持のための自宅でもできる簡単な体操および専門職による栄養改善や口腔機能向上の講習を一体的に実施した。

平成23年度から新たにマイホームはるみを加え、4カ所で実施した。

場 所 中央区保健所・浜町高齢者トレーニングルーム・ケアプラザあいおい・
マイホームはるみ

開催回数 48回

参加者数 延587人

ウ 訪問型介護予防事業

閉じこもり傾向のある高齢者の居宅を保健師が訪問し、生活機能に関する問題の把握・評価を行い、必要な相談・指導を実施した。

利用者実数 23人

訪 問 件 数 延74件

(7) 地域見守り事業支援

[決算額 1,074千円]

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを核として地域全体でその生活を支えていく地域見守りネットワークの拡大を図るため、声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

また自宅で倒れた時などに救急隊による救急活動がより適切に行えるよう、緊急連絡先や血液型などを記入して冷蔵庫に保管しておく「救急医療情報キット」を配布した。

実施団体数 14団体

見守り対象者数 277人

緊急医療情報キット配布数 430個

(8) 在宅療養支援

[決算額 19,830千円]

ア 在宅療養支援協議会の運営

経管栄養などの医療処置を必要とする要介護者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、介護サービス事業者および行政から構成される在宅療養支援協議会において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

開催回数 3回

実施内容 ・在宅療養研修の開催（事業所向け2回・家族向け2回）
・「在宅療養支援の手引」の配布（医師会・歯科医師会・薬剤師会・
介護保険施設・介護保険サービス事業所・病院等）

イ 在宅療養支援訪問看護

経管栄養などの医療処置を必要とする要介護者が在宅でも療養できるよう、退院・退所後に看護師を派遣して医療的ケアを行うとともに、家族に対して療養生活や介護方法等の指導等を行った。

派遣回数 9回

利用者数 5人

ウ 在宅療養支援病床の確保

要介護高齢者等が地域で安心して在宅療養を続けられるよう、病状の急変時等に速やかな受入れが可能な在宅療養支援病床を確保した。

病床数 3床（3カ所）

入院期間 14日以内

利用日数 延381日

(9) 高齢者あんしんコール事業

[決算額 11,718千円]

ひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯で、要介護認定を受けていない方を対象に、はるみ訪問看護ステーション（マイホームはるみ内）にボタン一つで通じる専用機器を自宅に設置し、オペレーターが24時間365日体制で生活や健康面での不安や悩みに対する相談・アドバイスをを行うとともに、緊急時には介護福祉士またはタクシー会社などの応急救護講習を受講した者による訪問サービス等を実施した。

設置者数 61人

延利用者数 657人

(10) 緊急通報システム [決算額 4,246千円]

65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯で、身体上の慢性疾患があるなど常時注意を要する高齢者の安全を確保するため、急病等の緊急事態にボタンを押すだけで救助を求めることができる緊急通報システム機器を設置した。

ア 消防方式 東京消防庁への通報により、消防署員と協力員（原則2名以上必要）が救助にあたる。

設置者数 150人

イ 民間方式 区が委託する事業者のコールセンターへの通報により、警備会社の出動員が安否確認や消防への通報等の救助にあたる。

平成23年度から人感センサーによる見守りサービスを開始した。

設置者数 59人（利用者数 延473人）

人感センサー設置者数 40人（利用者数 延307人）

(11) 高齢者食事サービス [決算額 26,159千円]

調理が困難な70歳以上（要支援・要介護の認定を受けた者は65歳以上）のひとり暮らし・高齢者世帯・日中独居の高齢者に安否確認をかねて食事を配達した。

平成23年度から昼食に加え夕食の配達を開始した。

配食数 延74,696食

対象者数 延5,257人

(12) ひとり暮らし高齢者実態調査 [決算額 9,206千円]

65歳以上のひとり暮らし高齢者の生活状況や意向を把握するため実態調査を行い、その調査結果をひとり暮らし高齢者の見守りにつなげるため、民生委員に提供した。

平成23年度は、これまでの調査において、ひとり暮らしではないと確認された方等についてもあらためて調査対象とした。

調査対象者数 7,445人 うち訪問調査（70歳以上） 5,730人

郵送調査（65～69歳） 1,715人

(13) 災害時地域たすけあい名簿 [決算額 602千円]

地震などの災害が起きたときに、自らまたは家族のみでの避難が困難であり、地域の手助けを希望する方を「災害時地域たすけあい名簿」に登録し、災害に対する日ごろからの備えとして、地域の防災区民組織、民生委員、警察署および消防署に提供した。

登録者数 5,027人

(14) 地域密着型特別養護老人ホーム等複合施設の整備 [決算額 122,640千円]

日本橋地域に地域密着型特別養護老人ホームおよび小規模多機能型居宅介護事業所を整備するため、建設工事設計（実施設計）および体育館解体工事を行った。

施設計画

予定施設	地域密着型特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所
整備地	中央区日本橋小伝馬町5番1号（十思スクエア敷地内）
構造規模	耐火構造 地下1階地上5階建ての3階から5階までの部分
開設予定	平成26年9月

(15) 介護サービス事業者に対する看護師等雇用補助 [決算額 35,621千円]

区内の民間特別養護老人ホームにおいて経管栄養等の医療処置を必要としている方の受入れを拡大するため、配置基準を超える看護師等を雇用するための費用を助成した。

助成施設数 2施設

(16) 巡回型ホームヘルプサービス [決算額 70,906千円]

ア 24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護者のいる家庭に対して24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数 延431人（高齢者372人、障害者59人）

イ 夜間対応型

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護者のいる家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスを行うとともに、必要に応じて介護福祉士等を利用者宅へ派遣した。

利用者数 延559人

- (17) 高齢者生活援助サービス [決算額 7,882千円]
要支援・要介護と認定された高齢者等に対して、生活援助および院内介助のため、民間事業者ヘルパーを派遣した。
生活援助派遣世帯数 286世帯（派遣回数 延2,351回）
院内介助派遣世帯数 244世帯（派遣回数 延1,428回）
- (18) 高齢者の住宅への家具類転倒防止器具の取付け [決算額 4,508千円]
家具類の転倒を防止し、生命の安全と財産の保全を図ることを目的として、緊急時の対応が困難な65歳以上の高齢者の住宅に、家具類転倒防止器具の取付けを行った。
平成23年度は「地域防災フェア」においても、本事業の周知・受付を行った。
費用負担 4個までは器具および取付費用の1割（住民税非課税者は無料）
設置者数 165人
器具取付個数 612個
- (19) 敬老館におけるサービスの充実 [決算額 181,856千円]
平成23年4月から指定管理者制度を導入し、開館日を拡大するとともに高齢者の憩いの場としての役割に加え、健康づくり、仲間づくり、生きがいくくり等のサービスの向上を図った。また、親しみをもって施設を利用いただけるよう、愛称名を募集し「いきいき館」と決定した。
開館日数 295日→360日（休館日は12月29日～1月3日）
- (20) 敬老買物券等の贈呈 [決算額 100,928千円]
70歳以上の高齢者の長寿を祝し、年齢に応じて区内共通買物券等を贈呈した。
贈呈者数 14,266人
- (21) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導 [決算額 12,578千円]
質の高い良好な高齢者向け住宅の供給を促進し高齢者の居住安定を図るため、民間事業者等による高齢者向け優良賃貸住宅の家賃減額に要する費用の一部を助成した。
助成件数 2件（27戸）

○ 健やかな子どもを育むために

* 子育て・青少年健全育成

(1) 晴海児童館等複合施設の整備 [決算額 652,200千円]

児童館とともに保育所機能と幼稚園機能とをあわせもつ「認定こども園」を併設した乳幼児から高校生まで利用可能な晴海児童館等複合施設について、建設工事に着手するとともに、指定管理者制度による運営事業者の選定を行った。

施設概要

所在地	中央区晴海2丁目4番31号
敷地面積	2,141.53㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建て
建物面積	1,466.88㎡
延床面積	5,397.23㎡
主な機能	児童館 工作展示室、図書室、スタジオ、学童クラブ室、 体育室等 認定こども園 保育室、遊戯室、調理室、子育て支援スペース、 屋外遊戯室等 定員150人 その他 屋上緑化、太陽光発電、防災倉庫等
開設予定日	平成24年12月1日

(2) 私立認可保育所への運営費助成 [決算額 723,487千円]

私立認可保育所における保育水準の維持・向上を図るため、保育経費や事業費、維持管理費、家賃などの運営費等の補助を行った。

私立認可保育所数および定員

保育所数	6園	定員	合計437人
------	----	----	--------

(3) 新設認証保育所への開設準備経費補助 [決算額 52,457千円]

新たな認証保育所を月島地域に1カ所誘致し、開設準備経費の補助を行った。

名称	ほっぺるランド佃
所在地	中央区佃1丁目11番8号 ピアウェストスクエアノースウィング2F
運営事業者	株式会社 テノ.コーポレーション
定員	0～5歳児 合計35名
開設日	平成24年1月1日

(4) 認可外保育施設保育料の助成 [決算額 156,000千円]

認証保育所等の認可外保育施設に子どもを預けている保護者に対し、施設へ支払う保育料の一部を認可保育所保育料との差額に応じて助成している。

平成23年度は、差額助成額の上限額を20,000円から50,000円に引き上げるとともに、助成区分を細分化し、保護者の経済的負担のさらなる軽減を図った。

助成件数 延6,329件

(5) 子どもショートステイ [決算額 6,488千円]

保護者の疾病等により養育が困難になった場合に、区が委託した施設等で児童を預かる子どもショートステイ事業を実施した。

平成23年度は、従来の乳児院および児童養護施設に加え、新たに区内の協力家庭への委託を開始した。

対象となる児童

乳児院	生後7日目～2歳
児童養護施設	2歳～中学3年生
協力家庭	2歳～小学6年生

利用期間

乳児院、児童養護施設	原則7日（6泊7日）以内
協力家庭	原則3日（2泊3日）以内

(6) 一時預かり保育 [決算額 56,440千円]

子ども家庭支援センター「きらら中央」および日本橋区民センター1階の子ども家庭支援センター日本橋分室において、一時預かり保育（一時保育・緊急保育）を実施した。

定員

子ども家庭支援センター「きらら中央」

一時保育	生後57日から2歳未満まで	10人	2歳から未就学児	10人
緊急保育		2人		

子ども家庭支援センター日本橋分室

一時保育	5人
緊急保育	1人

なお、平成23年度においては、夏季の電力需給対策に伴い、日曜日の保育が必要となった児童を対象とした「日曜特別保育」を実施した。

(7) 子ども医療費助成 [決算額 459,961千円]

乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

ア 医療証発行状況（平成24年3月31日現在）

- ・乳幼児医療証（対象：乳幼児） 7,951人
- ・子ども医療証（対象：小・中学生） 6,449人

イ 助成件数

- ・乳幼児医療 150,689件
- ・子ども医療 91,954件

(8) 出産支援事業 [決算額 94,537千円]

ア 出産支援祝品

妊娠中の方に対し、通院等の経済的・身体的な負担を軽減するため、出産支援祝品（タクシー利用券3万円分）を贈呈した。

贈呈件数 1,617件

イ 新生児誕生祝品

新たな区民の誕生を祝福し、その健やかな成長を支援するため、新生児誕生祝品（区内共通買物券3万円分）を贈呈した。

贈呈件数 1,385件

(9) 学校給食における食材料費補助 [決算額 13,752千円]

食材料費の高騰に対応し、栄養摂取基準や一定程度のメニューの確保など学校給食の質を維持するため、食材料費の補助を行った。

対象児童・生徒数および1人あたりの補助金額

- | | | | |
|-----------------|--------|----|------|
| ・小学校低学年（第1・2学年） | 1,603人 | 月額 | 180円 |
| 中学年（第3・4学年） | 1,535人 | 月額 | 190円 |
| 高学年（第5・6学年） | 1,513人 | 月額 | 200円 |
| ・中学校全学年 | 1,312人 | 月額 | 280円 |

(10) 子どもの居場所づくりの推進

[決算額 168,326千円]

子どもの健全育成を図るため、保護者の就労状況にかかわらず、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を小学校8校で実施した。

また、平成24年4月の久松小学校での開設に向けて、準備を行った。

実施校 8校（明石、京橋築地、有馬、佃島、月島第一、月島第二、月島第三、
豊海小学校）

対 象 当該小学校在籍児童および学区内在住の小学校学齢児童（登録制）

日 時 月曜日～金曜日 放課後～午後5時

学校休業日（日曜日・祝日・年末年始を除く） 午前9時～午後5時

特別な事情がある場合は午後6時まで

○ 思いやりとふれあいのあるまちのために

* 福祉のまちづくり

(1) 鉄道駅エレベーター等整備費補助 [決算額 46,265千円]

すべての人が自由にまちを歩き楽しむことができるまちづくりの一環として、鉄道駅におけるバリアフリー化を推進するため、鉄道事業者に対しエレベーターの設置経費の一部を補助した。

補助対象事業者 東日本旅客鉄道株式会社

エレベーターの設置駅 総武本線 新日本橋駅

* 男女共同参画

(1) ブーケ祭り10周年記念事業 [決算額 1,214千円]

ブーケ祭り10周年を記念して、記念講演会や横断幕の設置などを行った。

実施日 平成23年6月24日・25日

テーマ 「未来へ向けて、さらなる飛躍へ！」

来場者 1,520人

記念講演会 6月24日 午前10時～11時30分（参加者数 146人）

(2) 「ブーケ21」女性相談の充実 [決算額 5,213千円]

女性の様々な悩み相談に応じるため専門のカウンセラーにより行っている面談相談に加え、新たに電話相談を実施した。また、「女性に対する暴力をなくす運動」期間にDV電話相談を行った。

面談相談 第1・5水曜日、第4火曜日 午前10時～午後4時（年間26日）

第2火曜日、第3水曜日 午後3時30分～8時30分（年間24日）

相談件数 178件

電話相談 毎週月曜日 午前10時～午後4時（年間47日）

相談件数 102件

DV電話相談 平成23年11月12日～25日 午前10時～午後4時

相談件数 11件

2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして

○ 住みやすい環境づくり

* 住宅・住環境

(1) 「すまいるコミュニティ」の運用 [決算額 一千円]

適正なマンション管理とともに居住者同士や地域との良好なコミュニティの形成を推進するため、平成22年度に区の補助を受けて中央区都市整備公社が構築したシステム「すまいるコミュニティ」の運用を開始した。

運用主体 一般財団法人 中央区都市整備公社

運用開始日 平成23年4月1日

* 公園・緑地・水辺

(1) 民間施設の緑化推進 [決算額 9,506千円]

ヒートアイランド現象の緩和とみどり豊かな都市景観の創出を目的として、接道部、地上部および建物の屋上等を一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。

緑化助成 11件 (8,575千円)

樹木等保護育成助成 18件 (931千円)

(2) 公共施設の緑化推進 [決算額 23,291千円]

中央区緑の基本計画に基づき、区施設の壁面緑化工事を行った。

ア 総合スポーツセンター (決算額 5,082千円)

・緑化面積 約63㎡

イ ハイテクセンター等複合施設 (決算額 1,470千円)

・緑化面積 約276㎡

ウ 佃児童館・シニアセンター複合施設 (決算額 5,846千円)

・緑化面積 約71㎡

エ 中央区保健所等複合施設 (決算額 3,331千円)

・緑化面積 約44㎡

オ 有馬小学校 (決算額 7,562千円)

・緑化面積 約171㎡

(3) 校庭・園庭の芝生化 [決算額 2,412千円]

ヒートアイランド対策および緑化推進に加え、環境学習効果の向上を目的として、校庭の一部を芝生化した。

芝生化面積

佃島小学校 約102㎡

(4) 水の都プロジェクトの推進 [決算額 216,237千円]

誰もが散策や休息等を楽しめるよう、安全性・利便性に配慮し、質の高いデザインによる美しくうるおいのある水辺の空間を整備した。

ア 中洲公園の改修

整備箇所 中央区日本橋中洲13番13号先

施工面積 約2,494㎡

整備内容 園路広場整備 約1,046㎡

擁壁工（スロープ設置）1式、階段工 5カ所、デッキ工 2カ所

高木植栽 サトザクラ、クロガネモチ、ゲッケイジュほか 8本

中低木植栽 アセビ、ベニバナシャリンバイほか 1,796株

地被植栽 ヒペリカムカリシナム、フッキソウほか 13,375株

完 成 平成24年3月

イ 浜町河岸緑道の整備

整備箇所 中央区東日本橋1丁目10番先～日本橋浜町2丁目62番先

施工延長 275m

整備内容 下流部基盤整備

平板ブロック・ゴムチップ舗装工 1,219㎡

ウォールベンチ 約19m

道路・歩道照明灯 21基

高木植栽 シダレヤナギ、ソメイヨシノ、アマノガワ 19本

中木植栽 ソヨゴ、ベニバナエゴノキ、ハナズオウ 4本

低木植栽 ベニバナシャリンバイ、クルメツツジほか 740株

地被植栽 ヤブラン、オオイタビ、ヘデラほか 8,652株

完 成 平成23年11月

ウ 隅田川テラス照明灯の整備

整備箇所 中央区勝どき1丁目1番先～勝どき3丁目14番先ほか1カ所
施工延長 525m
照明整備 26基
完 成 平成24年3月

(5) 水辺空間活用にぎわい創出事業補助 [決算額 20,000千円]

かつて両国広小路とよばれた東日本橋の隅田川テラスに展望施設「棧敷」を設置する事業に対し補助を行うことで、水辺のにぎわいとともにより発展してきた本区の歴史・文化の継承と観光の振興を図った。

(6) 公園・児童公園の改修 [決算額 14,070千円]

区民のレクリエーション、憩いの場を充実させるため、公園および児童公園の改修等を行った。

ア 十思公園

所在地 中央区日本橋小伝馬町5番2号
委託内容 基本設計・実施設計

イ 月島第一児童公園

整備箇所 中央区月島4丁目2番1号
施工面積 約480㎡
施設 複合遊具、水飲み、インターロッキングブロック舗装、ダスト舗装ほか
植 栽 中低木植栽 シャリンバイ、ヒイラギナンテン、アジサイほか 970株
地被植栽 アガパンサス、ヤブランほか 1,150株
完 成 平成24年3月

○ 地球にやさしい環境づくり

* 環境保全

(1) 中央区エコタウン構想の策定 [決算額 14,536千円]

住宅系のモデル地区として「晴海地区」、業務系のモデル地区として「東京駅前地区」を対象に、区民・事業者等と区によるワークショップ形式により、地域の特性や課題を踏まえた地域の環境のあるべき姿を描き、具体的な環境行動を実践するため、中央区エコタウン構想を策定した。

ワークショップの開催

開催回数	晴海地区	3回
	東京駅前地区	3回

主な議題	重点プロジェクトの方向性 エコタウン構想案の構成検討
------	-------------------------------

(2) 中央区子ども環境サミットの開催 [決算額 1,875千円]

環境教育のさらなる推進を図るため、区立小学校16校の代表児童による「中央区子ども環境サミット2011」を開催し、環境をテーマとした研究成果の発表や環境学習への取組優秀校等の表彰、「中央区小学生環境宣言」の発表などを行った。

なお、この事業は「中央区エコタウン構想」の策定作業の一環である子ども対象のワークショップとしても位置付けた。

開催日 平成23年7月9日

会場 銀座ブロッサムホール

来場者 671名（内訳：児童250名、生徒121名、引率教員等80名、PTA会長14名、その他一般206名）

(3) 家庭の省エネ「見える化」の推進 [決算額 1,571千円]

中央エコアクト（中央区版二酸化炭素排出抑制システム）に参加する家庭に、電気使用量、電気料金、二酸化炭素排出量が表示される省エネナビを貸し出し、「省エネの見える化」を推進した。

貸出件数 延 29 件

(4) 未利用エネルギーに関する調査 [決算額 4,988 千円]

地域が持っている資源などを活用し、より優れたエネルギーシステムの構築を図るため、未利用エネルギー活用の方策について調査・検討した。

(5) 環境経営認証取得費助成 [決算額 830 千円]

環境に配慮した経営を促進し、事業活動から生じる環境負荷を削減するため、環境に関する認証を新規に取得した事業者に対して、審査および認証・登録に要した経費の一部を助成した。

助成実績	IS014001	2 件
	エコアクション21	3 件
	グリーン経営認証	1 件

(6) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備 [決算額 4,930 千円]

「中央区の森」の間伐材を使用したベンチを製作し、公園やコミュニティバス「江戸バス」の停留所に設置した。

整備実績

・公園	築地川亀井橋公園	3 基
	はとば公園	2 基
	越前堀児童公園	1 基
	佃公園	4 基
	晴海第二公園	2 基
・バス停留所	聖路加国際病院	1 基
	新島橋南	1 基
	八重洲通り東 (いちよし証券前)	1 基
	浜町駅 (明治座前)	1 基
	日本橋区民センター	1 基

(7) 中央区の森環境ふれあい村構想の推進 [決算額 5,381 千円]

平成22年度に策定した「中央区の森環境ふれあい村構想」を推進するため、檜原村、区民、区内環境団体、事業者等で構成する「中央区の森環境ふれあい村推進協議会」を設置し、各施策の具体化に向けた検討を行った。

中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催

開催回数	5回
主な検討内容	実施プログラム（素案）の検討 活動施設候補地の視察および選定 平成24年度協議会実施体制の検討

(8) 低公害車の普及促進 [決算額 3,837 千円]

自動車公害対策、地球温暖化対策の一環として、電気自動車の普及を図るため、区民・中小企業者の電気自動車購入に対して費用の一部を助成するとともに、区役所本庁舎など3カ所の駐車場に設置した電気エコ（急速充電）スタンドを無料で一般に開放した。

購入費助成 6件（2,120千円）

電気エコスタンド利用実績（充電回数）

区役所附属駐車場	2,076回
浜町公園地下駐車場	1,066回
月島駐車場	275回

(9) 公衆浴場のクリーンエネルギー化補助 [決算額 1,600千円]

区内公衆浴場使用燃料の都市ガス等への切替えを促進し、環境負荷を低減するとともに、災害時の安全確保と浴場経営の安定化を図るため、東京都の「公衆浴場クリーンエネルギー化推進事業補助」を活用する整備を対象に、補助対象経費の2/5（限度額1施設160万円）を補助した。

なお、平成23年度の補助により、区内全10浴場において都市ガスへの切替えが完了した。

補助実績	施設数	1施設
	整備内容	重油から都市ガスへの切替え

(10) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成 [決算額 29,556 千円]

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器等の普及を促進するため、区内の住宅および事業所の機器導入に対して費用の助成を行った。

助成実績

・住宅用

太陽光発電システム	8 件
高効率給湯器	75 件
高反射率塗料等	3 件

・事業所用

太陽光発電システム	1 件
高効率給湯器	13 件
エアコンディショナー	24 件
照明器具 (LED等)	58 件
厨房機器	7 件
高反射率塗料等	3 件
その他の省エネルギー機器	2 件

(11) 公園灯のLED化 [決算額 7,088 千円]

地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したLEDランプを公園灯に導入した。

整備箇所	築地川亀井橋公園	8 灯
	築地川祝橋公園	9 灯
	楓川宝橋公園	4 灯
	楓川新場橋公園	4 灯

(12) 地域クリーンパトロールの展開 [決算額 34,467 千円]

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所等と合同で街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日	毎日 (年末年始を除く)	午前6時～午後7時
巡回体制	2人1班の7班体制	
街頭キャンペーン	11回実施	入船橋交差点ほか10カ所

* 循環型社会

(1) リサイクル事業の普及・啓発

[決算額 2,210千円]

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をはじめ、環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」を開催した。エコまつりは、環境意識の向上等を図るため、フリーマーケットと同時開催するとともに、区内の小・中学校、保育園等から排出された生ごみの堆肥化により栽培している野菜（キャベツ）等の販売ブースを設置した。

フリーマーケットについては、区内の公園で3回開催した。

ア エコまつり

開催日 平成23年6月5日

会場 中央区保健所およびあかつき公園

参加者数 2,200人

実施内容 リサイクル自転車販売、「中央区の森」の間伐材を活用したワークショップ等 全18ブース

イ フリーマーケット

会場 あかつき公園（エコまつりと同時開催、71店舗出店）

佃公園 （平成23年9月10日開催、80店舗出店）

浜町公園 （平成23年11月12日開催、90店舗出店）

(2) 資源再利用（リサイクル）の推進

[決算額 524,199千円]

ア 集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数 194団体

回収実績 4,573,710kg

イ 拠点回収

資源物をリサイクルしやすいように公共施設等に資源の回収箱を設置している。公共施設では牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類の回収を行ったほか、平成23年度から小学校16校に加え、中学校2校でも廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、蛍光管、乾電池の回収を行った。また、回収協力店でペットボトルの回収を行った。

回収実績 190,384kg

ウ 集積所回収

集積所で紙類、びん、缶（スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベを含む）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、金属製のなべ・やかん・フライパンの回収を行った。

回収実績 6,043,430kg

(3) 資源持ち去り防止対策 [決算額 9,852 千円]

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

また、集積所（資源回収用コンテナ）に持ち去り禁止看板を設置するとともに、持ち去り防止の新聞回収袋を区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

パトロール実施日 月曜日～土曜日（年末年始を除く）

新聞回収袋作成枚数 34,000 枚

(4) 土のリサイクルの本格実施 [決算額 3,448 千円]

家庭で不用になった園芸用土の拠点回収を全小学校および銀座・日本橋中学校で実施するとともに、再生した土は苗木即売会等で無償配布した。

回収実績 10,203kg

配布実績 4,100kg

○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり

* 道路・交通

(1) 街路環境（シンボルロード）の整備 [決算額 71,329 千円]

広幅員の道路を単に交通の空間としてのみならず、安らぎやうるおいのある魅力的な空間として整備し、地域の生活環境の充実を図った。

整備路線 中央区東日本橋3丁目6番先～東日本橋3丁目10番先

整備延長 190m 歩道整備（カラー舗装） 1,017㎡

街路照明整備（デザイン灯） 8基 高木植栽（ユリノキ・サルスベリ） 24本

中木植栽（キンモクセイほか） 31本 低木植栽（ヒラドツツジほか） 888株

(2) 人にやさしい歩行環境の整備

[決算額 84,121 千円]

高齢者や障害のある方などを含むすべての人が、安全で快適に利用できるように、歩道拡幅やバリアフリー整備を行うとともに街路照明や街路樹等の整備を充実した。

整備路線

ア 中央区銀座3丁目7番先～銀座3丁目8番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 130m

街路照明整備（デザイン灯） 4基

イ 中央区入船1丁目7番先～八丁堀4丁目13番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 180m

街路照明整備（デザイン灯） 6基 植栽工（イチョウ） 14本

ウ 中央区日本橋本石町4丁目3番先～日本橋本石町4丁目6番先

整備内容 歩道拡幅 整備延長 150m

街路照明整備（デザイン灯） 7基

(3) 環境にやさしい道路の整備

[決算額 103,115 千円]

道路交通による騒音の抑制や降雨時における視認性の改善、ヒートアイランド現象の緩和などに効果がある環境にやさしい道路整備を行った。

整備路線

ア 低騒音舗装

- ・中央区新川1丁目15番先～新川1丁目23番先

整備延長 100m 車道舗装 879m²

- ・中央区日本橋堀留町2丁目2番先～日本橋人形町3丁目7番先

整備延長 230m 車道舗装 3,152m²

- ・中央区東日本橋3丁目6番先～東日本橋3丁目10番先

整備延長 190m 車道舗装 2,485m²

イ 遮熱性舗装

- ・中央区日本橋浜町2丁目23番先～日本橋浜町2丁目30番先

整備延長 220m 車道舗装 4,267m²

ウ 透水性舗装

- ・中央区東日本橋2丁目12番先～東日本橋2丁目25番先

整備延長 120m 車道舗装 393m²

(4) にぎわいのある道路の整備 [決算額 109,221千円]

都心にふさわしい、にぎわいを創出する道路空間の形成を図るなど、商業・観光振興に資する道路整備を行った。

整備路線

ア 中央区銀座1丁目4番先～銀座2丁目2番先

整備延長 180m 車道カラー舗装 1,194㎡

街路照明整備（デザイン灯） 8基

イ 中央区日本橋馬喰町1丁目6番先～日本橋横山町6番先

整備延長 110m 車道カラー舗装 555㎡

ウ 中央区日本橋横山町5番先～東日本橋3丁目13番先

整備延長 150m 車道カラー舗装 1,066㎡

(5) 電線共同溝の整備 [決算額 220,222千円]

災害に強い都市基盤の整備と、安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上のために、電線共同溝の整備を行った。

ア 整備地区

- ・中央区日本橋室町4丁目・日本橋本町4丁目地区

実施内容 引込・連系管路工事

整備延長 300m

- ・中央区日本橋本石町4丁目・日本橋室町4丁目地区

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 150m

イ 設計

- ・中央区湊2丁目東地区

実施内容 詳細設計・埋設物調査

- ・中央区築地6丁目16番先～築地7丁目18番先

実施内容 詳細設計・埋設物調査

- ・中央区日本橋本町2丁目3番先～日本橋本町2丁目5番先

実施内容 詳細設計・埋設物調査

- ・中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先

実施内容 予備設計

- ・中央区日本橋室町4丁目・日本橋本町4丁目地区

実施内容 引込・連系管路設計

(6) 橋りょうの架替 [決算額 149,713 千円]

健全度調査により、架替が必要な西仲橋について、下部工事および景観意匠設計を行った。
また、老朽化している新島橋について、架替のための詳細設計を行った。

ア 西仲橋

所在地 中央区月島3丁目31番先～勝どき1丁目2番先

実施内容 下部工事、景観意匠設計

イ 新島橋

所在地 中央区勝どき4丁目13番先～勝どき5丁目2番先

実施内容 詳細設計

(7) 橋りょう長寿命化修繕工事 [決算額 41,697 千円]

橋りょうの安全性の確保や長寿命化を図るため、「中央区橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、亀井橋の修繕工事を行った。

所在地 中央区築地1丁目7番先～銀座2丁目16番先

実施内容 橋りょう塗装工、車道舗装工、橋面防水工

(8) 小田原橋の撤去 [決算額 4,316 千円]

道路の平坦化により、安全で円滑な交通環境を確保するため、道路下に残存する小田原橋の撤去に係る設計委託を行った。

所在地 中央区築地4丁目14番先～築地6丁目27番先

委託内容 実施設計

(9) 基幹的交通システム導入に関する調査 [決算額 14,984 千円]

中央区地域公共交通会議の中に、学識経験者、道路管理者、交通管理者、交通事業者、地域住民、関係行政機関、区職員で構成される交通戦略部会を設け、徒歩、自転車、公共交通、自動車、物流など区全域における交通の今後のあるべき姿を調査検討し、銀座と晴海を結ぶ「基幹的交通システムの導入」など9施策からなる「中央区総合交通計画（案）」を取りまとめた。

交通戦略部会の開催

開催回数 3回

主な議題 目指すべきまちの将来像と交通の基本方針の検討

中央区総合交通計画の策定に向けた施策案の検討
関係者の役割分担を踏まえた実施プログラムの検討

(10) コミュニティバス「江戸バス」の運行 [決算額 102,394千円]

地域内・地域間を結ぶ公共交通を補完し、区内交通不便エリアの解消および公共施設の利便性向上を図るため、コミュニティバス「江戸バス」を運行した。

土日祝日の利用促進と利用者の利便性向上を図るため、新たに特色あるバスマップ（史跡めぐり編）を作成するとともに、停留所標識（26カ所）の改良や停留所に「中央区の森」間伐材を活用した待合ベンチ（5カ所）を設置した。

運賃	大人・子ども各100円 未就学児は無料
運行ルート	南循環ルート、北循環ルート
運行時間	南循環ルート 午前7時（日曜・祝日は午前8時）～午後6時40分 北循環ルート 午前6時58分（日曜・祝日は午前7時58分） ～午後6時38分

※いずれも中央区役所発車時刻

停留所	59カ所
乗車実績	延 470,265 人

* 防災・危機管理

(1) 地域防災フェア [決算額 48,730千円]

減災目標の達成と地域防災力の向上を目指し、区内の防災拠点において、防災用品の割引頒布および安全・安心に関する各種相談を行う地域防災フェアを実施した。

実施期間	平成23年6月5日～8月24日
実施会場	各防災拠点（21委員会）、中央区役所、日本橋・月島両特別出張所
住宅用消火器頒布	4,726個（期限切れ消火器回収5,073個）
家具類転倒防止器具頒布	9,572個
各種相談	995件

(2) 防災拠点運営委員会訓練 [決算額 14,087千円]

地域の防災拠点運営委員会が自ら企画して実施する防災訓練を支援した。

実施場所	各防災拠点（21委員会）
住民等の参加者数	3,371人
主な訓練内容	避難所開設・運営訓練、初期消火・放水訓練、資器材操作訓練 AED・応急救護訓練、起震車による地震体験等

(3) 防災拠点運営委員会への支援 [決算額 10,168千円]

災害時の円滑な防災拠点の運営や、平常時の防災対策を推進するため、「防災拠点運営委員会」（21委員会）の活動を支援した。

運営支援

- ・委員会開催（21委員会） 延99回
- ・防災拠点活動マニュアルの更新
5拠点（日本橋小学校、十思スクエア、有馬小学校、久松小学校、日本橋中学校）
- ・拠点ごとの住民向け防災拠点のお知らせ作成・配布（21委員会）
- ・防災拠点運営委員会連絡会議の開催

(4) 高層住宅防災対策 [決算額 5,515千円]

ア 高層住宅防災対策

高層住宅ごとの設備や居住者の状況などを調査し、大地震によりライフラインやエレベーターが停止した際に活用する震災時活動マニュアルの作成を支援した。

マニュアルの作成支援 3件

イ マンション管理組合等防災対策支援

区内マンションの管理組合等が、防災対策を進めていく上での問題点や解決策を学べる防災講習会を開催した。また、マンションの登録制度を導入し、希望するマンションに防災に関する情報を提供した。

講習会	4回開催
参加者	延112人（64棟）
情報提供	17棟

(5) 住宅・建築物耐震改修等支援事業 [決算額 277,455千円]

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性を向上するため、木造住宅および業務商業建築物等の耐震改修費用の一部を助成した。また、災害時における物資輸送路等を確保するため、東京都が指定した緊急輸送道路沿道等の建築物についても耐震改修費用の一部を助成した。

さらに、耐震化を促進していくために、一般社団法人東京都建築士事務所協会中央支部・社団法人東京中小建築業協会中央支部・NPO法人地域の防災と町づくりを研究する会と中央区で耐震促進協議会を設立した。

ア 民間建築物の耐震改修等に要する費用の助成

・木造建築物

住宅	耐震診断・補強計画	101件 (17,295千円)
	耐震補強工事	22件 (63,568千円)
	簡易補強工事	23件 (31,207千円)

業務商業建築物	耐震診断・補強計画	2件 (200千円)
---------	-----------	-------------

・木造以外の建築物

住宅	耐震診断	1件 (500千円)
分譲マンション	耐震診断	2件 (3,654千円)
業務商業建築物	耐震診断	10件 (4,990千円)

・緊急輸送道路沿道等の建築物（木造以外の建築物）

分譲マンション	耐震診断	3件 (9,268千円)
業務商業建築物	耐震診断	8件 (8,000千円)

・特定緊急輸送道路沿道の建築物（木造以外の建築物）

業務商業建築物	耐震診断	28件 (122,355千円)
---------	------	-----------------

イ 耐震促進協議会

- ・設立 平成24年1月
- ・活動内容 外観目視による住宅等の建築物の耐震性総点検
耐震化相談窓口の開設
耐震化に関するセミナーの開催

(6) 公衆浴場の耐震化等補助 [決算額 970千円]

区内公衆浴場の耐震化を促進し、浴場利用者および周辺住民の安全性の確保を図るため、東京都の「公衆浴場耐震化促進事業補助」を活用する整備を対象に、補助対象経費から東京都が交付した補助金額を差し引いた額（限度額500万円）の補助を行った。

補助実績	施設数	1施設
	整備内容	煙突の撤去

(7) 橋りょうの健全度調査 [決算額 10,168 千円]

橋りょうの健康診断として、老朽度等について健全度調査を行った。

ア 調査橋りょう

新金橋、弾正橋、松幡橋、鎧橋、浜前橋、住吉小橋

イ 調査内容

現地踏査、外観目視調査、打音調査、交通量調査

(8) 災害時対応型公衆便所の整備 [決算額 39,486 千円]

公衆便所の改修にあわせて、地震等によりライフラインが停止した場合でも利用可能となるよう、トイレの構造を地下ピット式に整備した。

ア 浜町緑道内公衆便所

所在地 中央区日本橋人形町2丁目36番12号

完 成 平成24年3月

イ 佃大橋東公衆便所

所在地 中央区佃1丁目8番10号先

完 成 平成24年3月

(9) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対策助成 [決算額 3,085千円]

個人の住居に防犯アドバイザーを派遣し、防犯に関する助言・指導を行う「安全・安心おまかせ出前相談」を実施するとともに、相談した区民が防犯アドバイザーのアドバイスに沿って、玄関・窓などに防犯対策を行った場合に、その費用の1/2（上限額1万円）を助成した。

平成23年度は地域防災フェア会場にブースを設け、安全・安心おまかせ出前相談を実施した。

防犯アドバイザー派遣件数 51件

防犯対策助成件数 26件

(10) 共同住宅等生活安全（防犯）アドバイザーの派遣と防犯設備整備費助成

[決算額 1,466千円]

マンション管理組合、町会・自治会等に防犯アドバイザーを派遣し、周辺環境の説明や防犯に関する相談を受け、助言・指導を行った。また、防犯アドバイザーのアドバイスに沿って、防犯設備を整備した場合に、その費用の1/2（上限額50万円）を助成した。

防犯アドバイザー派遣件数 14件

防犯設備整備費助成件数 3件

(11) 安全・安心メールの配信

[決算額 1,638千円]

区民等の安全・安心に寄与するため、区内の犯罪情報、消費生活情報、気象・地震情報などについて、登録した方の携帯電話やパソコンにメールで配信した。

登録者数 3,259人（平成24年3月31日現在）

配信件数 178件

(12) 安全・安心ハンドブックの改訂

[決算額 3,418千円]

犯罪発生状況や防犯に関する基礎知識、防犯に関する区の施策など最新の情報を盛り込み、区民が犯罪等から自らの安全を守るための情報と知識を分かりやすくまとめた「安全・安心ハンドブック」を改訂し、区内全戸に配布した。

作成部数 100,000部

(13) 帰宅困難者対策協議会（仮称）設立支援

[決算額 2,615千円]

大規模開発に併せて設置された帰宅困難者支援施設を有効かつ円滑に運営するため、地域の事業者を主体とする協議会の設立に向けた支援を行った。

準備会の開催 3回

参加者 学識経験者 区内事業者等 鉄道事業者 築地警察署 京橋消防署

実施内容 意見交換、講演会、施設運営計画書（案）の作成

(14) 中央区業務継続計画（地震編）の策定

[決算額 2,457千円]

災害時における応急・復旧業務および区民生活に不可欠な業務を継続し、災害からの早期復旧を図るため、中央区業務継続計画（地震編）を策定した。あわせて災害時に行う業務の

具体的手順を記した災害時職員行動マニュアルの改訂を行った。

(15) 区内事業所の震災時の対応等調査 [決算額 3,980千円]

多くの事業所を有する本区の特性を踏まえ、東日本大震災時における区内事業所の対応についてアンケート調査を実施した。

対 象 区内事業所 10,000社
回 答 数 2,328社
実施期間 平成23年10月6日～31日

(16) マンション防災対策自己点検調査支援 [決算額 4,116千円]

8割を超える世帯が共同住宅居住者という本区の特性を踏まえ、区内分譲マンションを対象に東日本大震災による被害状況および日常的に取り組んでいる防災対策の現状やその課題等についてアンケート調査を行った。また、各マンションが自主的に防災対策の点検調査に取り組めるよう支援を行った。

対 象 区内分譲マンション 711棟
回 答 数 253棟
実施期間 平成23年8月31日～平成24年1月31日

(17) 防災資器材備蓄の充実（防災資器材等の管理） [決算額 40,167千円]

東日本大震災の被災地での避難所運営等を参考に新たな資器材を導入し、備蓄内容の充実を図った。

導入資器材

- ・避難所用マット 4,600枚（備蓄倉庫）
- ・簡易ベッド 270台（防災拠点・副拠点 各10台）
- ・バルーン投光器 58台（防災拠点・活動資器材庫・区役所 各2台、副拠点 各1台）
- ・ガスボンベ式発電機 27台（防災拠点・副拠点 各1台）

(18) コミュニティFMを活用した緊急情報の提供 [決算額 44,096千円]

防災行政無線の補完手段として、地域コミュニティFM（中央FM）を活用して緊急情報等が受信できる緊急告知ラジオを区民に提供した。

対象者 区民（1世帯につき1台）

本人負担額 1,000円

提供台数 4,224台

* 地域整備

(1) 市街地再開発事業助成 [決算額 3,417,400千円]

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

助成地区および金額

・晴海三丁目西地区 185,800千円

・新川二丁目地区 530,000千円

・月島一丁目3・4・5番地区 1,856,000千円

・勝どき五丁目地区 453,600千円

・京橋二丁目西地区 392,000千円

(2) 都市再生土地区画整理事業助成 [決算額 10,000千円]

公共施設の整備改善と宅地の利用の増進を図り、合理的かつ健全な土地利用を促進することにより、防災性の向上、土地の有効高度利用等を推進するため、事業施行者に事業費の一部を助成した。

助成地区および金額

湊二丁目東地区 10,000千円

(3) 日本橋再生推進協議会の運営と名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および

日本橋川再生に向けたまちづくり調査 [決算額 8,909千円]

日本橋・東京駅前地区における都市計画課題を地元を受け入れられる形で実現するとともに、地域と情報を共有しながら、個別プロジェクト相互が連携し、日本橋地域の個性を

生かしたまちづくりを進めるため、引き続き調査・検討を行った。

また、日本橋上空の首都高速道路の撤去実現に向けた日本橋川河岸街区のオープンスペース化について、モデル地区におけるまちづくりの検討を継続的に行い、国との検討を踏まえながら東京駅前地区との連携を前提とした都市計画の考え方を整理し、その検証を進めている。

日本橋再生推進協議会

開催回数 1回

3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり

* 商店街振興

(1) 商店街支援事業補助 [決算額 315,278 千円]

ア イベント事業

商店街が自らの宣伝等を目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

なお、平成23年度より補助限度額を400万円から600万円に引き上げた。

補助件数 34件

イ 活性化事業

商店街が自ら行う施設整備、情報発信機能強化および顧客利便性向上等を目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

- ・振興ビジョン策定事業 1 商店街
- ・マップ作成事業 1 商店街
- ・街路灯リニューアル事業 1 商店街
- ・アーケード改修事業 1 商店街

ウ ビジョン実現事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、自ら作成した振興計画に基づき行う事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

- ・街路灯設置および車道舗装等事業 1 商店街

エ 地域協力事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、町会・自治会、特定非営利活動法人等と協力して実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

- ・イベント事業 7 件
- ・防犯カメラ設置事業 3 商店街
- ・ホームページ開設事業 1 商店街

(2) 観光商業まつり [決算額 61,780 千円]

都心における代表的観光商業地区である本区の特性を活かし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

また、平成23年度は、東日本大震災の被災地復興支援事業を行った。

さらに、中央区商店街連合会60周年記念事業実行委員会と連携し、本区の“食”を紹介する従来の「味わい広場」の内容を充実させ、「東京まん真ん中 味と匠の大中央区展」を開催した。

実施期間 平成23年10月3日～11月30日

(3) 名橋「日本橋」架橋100周年記念事業費補助 [決算額 20,000 千円]

本区の代表的な観光資源である「日本橋」を広く内外にPRし、区内全体の活気やにぎわいの創出と地域の活性化を図るため、名橋「日本橋」保存会が実施する架橋100周年記念事業に対し補助金を交付した。

主な事業内容

- ・双十郎船乗込み・「双十郎河岸」記念碑の設置 (7月31日)
- ・日本橋100周年記念フォーラムの開催 (7月31日)
- ・日本橋タイムカプセルオープン (10月27日)
- ・架橋100周年記念式典・祝賀会 (10月27日)
- ・日本橋架橋百年祭「日本橋架橋100周年記念まつり」の開催 (10月30日)

(4) 中央区商店街連合会60周年記念事業助成 [決算額 20,000 千円]

中央区商店街連合会創立60周年を記念して、「宝さがしイベント」など多彩な事業を通じてその活動を区内外にPRした。

実施期間 平成23年10月3日～平成24年3月31日

主な事業内容

- ・記念ロゴの制作
- ・宝さがしイベント 総参加者数 16,854人
- ・中央区ふれあい街歩きマップを6エリアに分けて240,000部作成
- ・旅行情報誌「エースるるぶ」への商店街PRページ(4ページ)作成
- ・外国人旅行者誘致サイト「JAPANiCAN」へ中央区商店街特集を4カ国語で掲載

(5) 共通買物券の発行 [決算額 581,439 千円]

景気対策の一環として、区内の消費を一層刺激して地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販売日 平成23年6月19日

販売場所 区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、晴海区民館

発行総額 5億5千万円

(6) 地域通貨基礎調査 [決算額 4,998 千円]

商店街の活性化を目的として、本区における地域通貨の最適な運用方法を検討するため、区民、勤務者、商業者に対するアンケートなど必要な基礎調査を行った。

* 産業振興

(1) 日本橋問屋街活性化事業支援 [決算額 6,000 千円]

これまで問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果等を踏まえ、情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との連携事業の質的充実などの活性化事業に対する支援を行い、日本橋問屋街のさらなる再生と活性化を図った。

主な事業内容

- ・上海の展示会への出展
- ・海外バイヤー向けマップの作成
- ・ファッションショーの開催
- ・新聞製作、メディアとの連携強化
- ・ホームページでのイベント案内・売出案内等各種情報の随時アップデートや問屋街説明文の英語版および中国語版の掲載
- ・オープンカレッジ、街角ディスプレイなど文化服装学院との連携事業の実施

(2) 中小企業販路拡大支援 [決算額 3,423 千円]

中小企業の販路拡大および自立的発展に寄与することを目的として、展示会や見本市等へ出展する場合に要する経費について、その一部を補助（限度額15万円）した。

補助件数 24件

(3) 商工業融資

[決算額 3,120,776千円]

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっ旋、保証料補助および利子補給を実施した。

また、都制度融資（経営緊急・経営セーフ・災害緊急）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の補助（限度額30万円）を実施した。

なお、平成16年度から、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助している。

ア 貸付件数および貸付額

制 度 名	件 数	金額（千円）
運転資金融資	116	1,471,500
設備資金融資	17	248,000
小規模企業資金融資	17	124,810
年末特別資金融資	6	16,000
小口資金融資	94	379,710
創造支援資金融資	58	365,900
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	1	10,000
経営改善支援資金融資	111	1,201,180
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	8	19,500
区融資一本化資金融資	7	47,120
小口緊急景気対策特別資金融資	180	698,820
緊急景気対策特別資金融資	1,531	16,272,620
計	2,146	20,855,160

イ 信用保証料補助

区制度融資分	2,206件	526,609千円
都制度融資分（経営緊急・経営セーフ・災害緊急）	294件	56,809千円
ウ 利子補給	34,733件	814,109千円
エ 経営改善資金融資利子補助	602件	12,930千円

(4) 若年者合同就職面接会 [決算額 243 千円]

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実施日 平成23年11月30日

面接者数 延145人

求人数 61人

参加企業 15社

採用者数 15人

(5) 職業相談・就職ミニ面接会 [決算額 417 千円]

ハローワーク飯田橋の協力により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民等の就労支援と雇用の安定化を図った。

実施日 毎月第2・4火曜日 午後1時～4時

面接者数 延166人

参加企業 37社

職業相談件数 70件

インターネット求人検索利用者数 22件

採用者数 6人

(6) 雇用促進奨励金 [決算額 500 千円]

国の緊急雇用対策として実施されている派遣労働者雇用奨励金等に併せ、区独自の奨励金制度として「派遣労働者雇用安定促進奨励金」「若年者等正規雇用促進奨励金」「既卒者トライアル雇用促進奨励金」「既卒者（新卒扱い）採用促進奨励金」を交付することにより、本区の若年者等の雇用安定化の促進と中小企業支援の一層の強化を図った。

交付実績

既卒者トライアル雇用促進奨励金（第1期） 1件 150,000円

既卒者トライアル雇用促進奨励金（第2期） 1件 250,000円

* 観光

(1) 「中央区観光振興ビジョン2012」の策定 [決算額 22,313千円]

歴史・文化に根ざし築き上げられた現代都市の魅力そのものを、住む人と訪れる人がともに楽しむ「都市観光」をコンセプトに掲げ、より一層の観光振興を図る新しい観光モデルの実現を目指すため「中央区観光振興ビジョン2012」を策定した。

(2) 中央区観光検定 [決算額 10,465千円]

中央区の魅力ある観光資源を再認識し、さらに中央区ファンを増やすため、区内の観光スポットや歴史、文化等を題材にして実施した。

平成23年度から区内中学校の協力を得て、新たに「中央区ジュニア観光検定」を実施した。

一般の合格者には認定証を発行したほか、得点上位者を翌年度の観光協会特派員として新たに任命した。ジュニア観光検定の高得点者には点数に応じた認定証を発行した。

ア 第4回中央区観光検定

実施日 平成24年2月12日

会場 日本橋会場：ロイヤルパークホテル

銀座会場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

受検料 一般 3,000円

大学生・専門学生・団体（5名以上） 2,000円

高校生以下 1,000円

受検者数 203人

合格者数 133人

特派員任命者数 21人

イ 第1回中央区ジュニア観光検定

実施日 平成24年2月12日

会場 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

対象者 区内に在学する中学生

受検料 無料

受検者数 69人

認定者数 20人

(3) 船着場の整備および管理運営

[決算額 26,228 千円]

快適でうるおいのある水辺のにぎわい空間を創出するとともに、災害時における帰宅困難者および救援物資等の円滑な水上輸送など防災機能の向上を図るため、船着場の管理運営を行った。また、日本橋船着場のバリアフリー化を図るため、滝の広場におけるエレベーター設置の設計を行った。

ア 滝の広場バリアフリー化

所在地 中央区日本橋1丁目9番先

委託内容 実施設計

イ 日本橋船着場の管理運営

委託内容 利用予約受付業務、船着場管理業務等

ウ 朝潮運河船着場の管理運営

委託内容 利用予約受付業務、船着場管理業務、周遊イベントの実施等

○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

* 学校教育

(1) 学習力サポートテスト [決算額 24,961千円]

各学校での個に応じた指導の充実および教員の指導力の向上と、児童・生徒の学習の動機付けに資するため、小学校第4学年から第6学年、中学校全学年を対象とする本区独自の学習力サポートテストを実施するとともに、個人別の学習診断カルテを作成・配布し、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

また、基礎的・基本的な学習内容の定着・向上と家庭での学習習慣の定着を図るため、学習力サポートテストの結果をもとに、各教科ごとの理解度に応じた段階的な自主学習支援テキスト（小学生版）を本区独自に作成した。

テスト実施日 平成23年5月10日

自主学習支援テキスト

- ・対象学年 小学校第4学年～第6学年
- ・教科 国語、算数、理科、社会

(2) 小学校の学力向上対策 [決算額 63,656千円]

基礎的学力の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を配置して、習熟度別指導・個別指導を実施した。

また、理科授業のより一層の充実および活性化を図るため、実験や観察等における教員の支援を行う理科支援員を配置した。

- ・非常勤講師（算数）の配置 小学校16校 各1人配置
- ・理科支援員の配置 小学校16校の第5・6学年の全学級
(1学級あたり150時間)

(3) 中学校の学力向上対策 [決算額 71,176千円]

国語・数学・英語の3教科における習熟度別指導・個別指導等の充実を図るため、中学校の全学級で少人数授業を実施するとともに、各校の実情に応じて、少人数指導教科の拡大（理科・社会）を行った。

また、夏季休業期間中などに教育センター等を利用して習熟度別集中講座を実施し、生徒の学力に応じたきめ細やかな学習支援を行った。

- ・非常勤講師の配置 24人（国語・数学・英語・理科・社会 各校6人×4校）

・夏季集中講座（コース別）

参加生徒数 207人（第1学年77人、第2学年45人、第3学年85人）

参加率 約15.9%（参加生徒数／在籍生徒数）

(4) 英語教育の推進 [決算額 74,034千円]

国際化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語の指導について、幼少期から英語に親しむことで、英語学習への関心や意欲を持たせるため、小・中学校全校にALT（外国語指導補助講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上、中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

- ・小学校 第1・2学年 年間11時間（月1時間）
第3～6学年 年間35時間（週1時間）
- ・中学校 各校年間190日

(5) 授業力向上システムの構築 [決算額 674千円]

本区独自の研究奨励校制度において新たに「授業力向上モデル研究校」を指定するとともに、在籍校のほか他校の若手教員等に対しても指導・助言の役割を果たすことができる教員を「メンタティーチャー」として育成・認定し、教員の授業力向上のためのシステムを構築した。

授業力向上モデル研究校の指定	2校
メンタティーチャーの認定	2人

(6) 健康教育の推進 [決算額 54,237千円]

ア 小学校の体育指導

全小学校に体育指導補助員を配置し、児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助など体育指導を充実するとともに、1校1運動（マイスクールスポーツ）への継続的な取組を行った。

イ 中学校の体育指導

中学生の体力向上を図るため、新学習指導要領の保健体育に対応した「武道、ダンス」や運動種目ごとの専門的スキルや指導能力をもつ種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ 小・中学校の食育指導

小・中学校全校において、大学講師、プロの料理人等「食」の専門家による授業を実施した。

また、バランスの良い食事、生活習慣等の中での食育推進に寄与するため、親子クッキングスクールでの学校給食の献立紹介や食育に関する啓発資料の展示等を行った。

エ 中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するとともに活性化を図るため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を配置した。

(7) 教育相談体制の強化 [決算額 51,286千円]

教育センターの専任教育相談員（臨床心理士等）を12人から14人に増員し、来所相談や電話相談のほか、小学校、幼稚園および保育園へ派遣するなど、教育全般に対する相談体制の強化を図った。

(8) 特別支援教育への対応 [決算額 114,186千円]

ア 特別支援教育専門員の配置

特別支援教育専門員を2人配置し、適切な就学相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

イ 特別支援教育アドバイザーの派遣

小・中学校等に医師や臨床心理士等を派遣し、心身に障害のある児童・生徒についての専門的な指導・助言等を教員に対して行った。

派遣回数 小・中学校 各校年3回 宇佐美学園 年3回 幼稚園 各園年2回
特別支援学級・通級指導学級 各校年3回

ウ 特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒を対象とする、特別支援学級を設け、特別支援教育補佐員を配置するなど、一人ひとりの能力に応じた適切な教育を行った。

平成23年度は、有馬小学校で通級指導学級（情緒障害等）を新たに開設した。

エ 特別支援教育コーディネーター補佐員の試行配置

教員による特別支援教育コーディネーターを補佐する特別支援教育コーディネーター補佐員を配置し、スクールカウンセラー、学習指導補助員等との連携体制づくりのコーディネーターや、子どもの能力と可能性を伸長する指導法を検討する際の支援を行った。

なお、平成23年度は、試行配置している特別支援教育コーディネーター補佐員を1人から2人に増員した。

オ 学習指導補助員の配置

通級指導学級に通う児童・生徒が原籍校の通常学級で学習する場合や教育的支援を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍する場合において、きめ細やかな支援と学習指導を円滑に行うことを目的として、学習指導補助員を配置した。

カ 小・中学校における介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

(9) 小学校・幼稚園の改築 [決算額 2,163,640千円]

改築対象の3小学校・幼稚園のうち、中央小学校・中央幼稚園と明石小学校・明石幼稚園については、改築推進協議会で協議を行いながら、新校舎の建設工事を進めた。

また、明正小学校・明正幼稚園については、学校、PTA、町会関係者などで構成する改築準備協議会において、老朽化が進む新川児童館への対応を含めた新たな校舎の構想がまとめられ、それを基に基本設計・実施設計を行った。

ア 中央小学校・中央幼稚園

所在地 中央区湊1丁目4番1号

建築概要	鉄筋コンクリート造	地上5階	地下1階	延べ面積	12,203.24㎡
・小学校		1～5階および地下1階の一部			11,023.35㎡
・幼稚園		1～2階の一部			1,179.89㎡

イ 明石小学校・明石幼稚園

所在地 中央区明石町1番15号

建築概要	鉄筋コンクリート造	地上5階	地下1階	延べ面積	9,949.53㎡
・小学校		1～5階および地下1階の一部			8,599.83㎡
・幼稚園		1～2階および地下1階の一部			1,349.70㎡

ウ 明正小学校・明正幼稚園（新川児童館との複合施設）

所在地 中央区新川2丁目13番4号

建築概要	鉄筋コンクリート造	地上6階	地下1階	延べ面積	約11,694㎡
・小学校		1～6階の一部			約8,090㎡
・幼稚園		1～2階の一部			約1,243㎡
・小・幼共用		1階の一部			約28㎡
・児童館		1～6階の一部			約1,884㎡
・全体共用		1～6階の一部			約447㎡

(10) 復興小学校の記録保存 [決算額 8,495千円]

区内の復興小学校4校（城東、泰明、常盤、阪本）について、その歴史的・建築的価値の将来への継承に寄与するための記録保存に向け、文献史料などの調査を行った。

(11) スクールバスの運行 [決算額 10,182千円]

特認校制度の実施に伴い、就学人口の多い月島地域から比較的離れている小規模校である城東小学校、常盤小学校、阪本小学校への交通手段として、スクールバスを登下校時に運行した。

運行便数 登校時1便 下校時2便

乗降場所 月島地域で指定する4カ所および各小規模校の正門付近

利用者数 43人

* 生涯学習・スポーツ

(1) 地域スポーツクラブの設立支援 [決算額 76千円]

地域住民により自主的・主体的に運営され、身近な地域で子どもから高齢者までさまざまな人々がスポーツに親しむことのできる地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行った。

活動内容

平成23年5月 設立準備会立ち上げ

平成23年7月 地域説明会および体験会の開催

○ 文化の香る交流のまちづくり

* コミュニティ

(1) 地域手づくりイベント推進助成 [決算額 30,965千円]

地域の活性化と発展を図るため、町会・自治会が行う「手づくり行事」に対し、区が経費の一部を助成している。

対 象 区内の町会・自治会

助成件数 165 件 (122 団体)

助 成 額 所要経費の1/2 (ただし、次の表の限度額の範囲内)

町会等の世帯数区分	助成限度額 (1年度につき)
119世帯以下	150,000円
120～139世帯	180,000円
140～159世帯	210,000円
160～179世帯	240,000円
180～199世帯	270,000円
200～499世帯	300,000円
500～699世帯	330,000円
700～849世帯	360,000円
850～949世帯	390,000円
950～999世帯	420,000円
1,000～2,999世帯	450,000円
3,000～3,999世帯	650,000円

※ 4,000世帯以上は750,000円とし、以降1,000世帯増えるごとに100,000円増額する。

※ 上記限度額は平成23年度より適用

(2) 大江戸まつり盆おどり大会 [決算額 39,933千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を町会等区内各団体の参加と協力を得て実施した。

開 催 日 平成23年8月27日 ※ 26日は雨のため中止

会 場 浜町公園

来場者数 約41,000人

(3) 協働提案事業 [決算額 2,298千円]

社会貢献活動団体（NPO法人・ボランティア団体など）と区が力を合わせて公共的な課題解決に取り組み、よりきめ細かな行政サービスを提供するため、平成22年度に協働提案事業を公募し、審査の上採択された3事業について平成23年度に実施した。

ア からだとこころ、いのちについて考える出前授業

小・中学校の総合学習などのカリキュラムにおいて、からだやこころ、いのちの大切さについて学ぶ場を提供するなど、心身や医療についての出前授業を行った。

実施団体 特定非営利活動法人 からだとこころの発見塾

実施校数 6校

イ 自然・環境出前授業

区立幼稚園、小学校のカリキュラムにおいて、日頃、自然と親しむ機会が少ない都心の子どもたちに、ミツバチなどを活用した環境教育や食育教室などの出前授業を行った。

実施団体 特定非営利活動法人 銀座ミツバチプロジェクト

実施校数 11園・校

ウ 外国から編入学した児童・生徒の学習支援

日本語の習得が十分でないため、授業内容の理解や良好な友人関係づくりが難しい外国から編入学した児童・生徒に対して、大学生ボランティアなどが個別指導を基本とした教科学習の支援を行い、学習意欲の向上と不安や悩みの解消を図った。

実施団体 特定非営利活動法人 キッズドア

会場 教育センター

実施回数 年間28回

(4) 区民還暦祝い事業 [決算額 8,000千円]

還暦を迎える区民の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生をより充実させるための学びへの意識高揚や、これまで培った知識や経験、能力を地域社会で生かしたいという行動の契機とすることを目的に実施した。

ア 還暦祝い状・祝い品（映画ペア券）の贈呈

対象 平成23年度中に60歳を迎えた区民

発送時期 平成23年7月

イ 還暦のつどいの実施

開催日 平成23年10月2日

対象 参加を希望する還暦対象者

会場 銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内容 シニア世代の活動紹介、トーク・ライブショー

* 文化振興

(1) 中央区まるごとミュージアム [決算額 32,773 千円]

文化・芸術の秋の一日に、民間の文化事業を含む区内のさまざまな文化的な魅力を区民等に体験してもらうため、中央区文化・国際交流振興協会との共催で実施した。

中央区というまち全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺など数々の魅力にあふれるミュージアムであることから、区民等が無料で区内を巡回するバスや船、さらには江戸バスに乗り回遊しながら中央区の文化的な魅力を大いに楽しみ享受できる一日とした。

開催日 平成23年10月30日

場所 中央区全域

参加者数 延 65,000 人（江戸バス・借上バスの乗車人数 5,315 人、
船の乗船人数 3,548 人）

(2) 文化事業助成 [決算額 4,493 千円]

本区にふさわしい文化の創造や区民および民間事業者等による文化活動の活性化を図るため、文化振興基金を活用して文化事業に対する助成を行った。

また、平成24年度の助成対象事業について選考を行った。

助成対象事業

- ・区内で実施され区民等に広く公開される、原則として新たに行う文化芸術活動などの事業
- ・文化ボランティアや文化NPOなど本区の文化を担う人材を育成するための事業
- ・区内の文化的魅力を内外に情報発信していく事業

平成23年度助成事業数および助成額 4 事業 4,077 千円

平成24年度助成予定事業数 4 事業（応募事業数17件）

(3) まちかど展示館 [決算額 2,252 千円]

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心をはぐくむため、区民等が地域にある文化資源を発掘し、展示・公開を行う施設を新たに整備する場合に、その整備等に要する費用を助成した。

認定施設数 9 施設

助成件数 1 件

(4) 区内に現存する近代建築物に関する調査 [決算額 5,965千円]

平成23年度から3カ年で、区内に現存する近代建築物の分布状況や特色など、歴史的・建築的な価値に関する調査を実施している。平成23年度は、近代建築物の分布状況を調査するため、各種文献等を参考に、目視による悉皆調査と関係者等への聴き取り調査等を行った。

対象建築物 約2,000件

(5) 子ども向け文化・歴史読本の作成 [決算額 7,319千円]

子どもたちが地域をより身近なものとして感じ、郷土への愛着心をはぐくめるよう、本区の歴史や文化、伝統等に着眼した「中央区子ども向け文化・歴史読本」(仮称)を平成24年度に発行することとし、平成23年度は、執筆・校正作業を進めた。

(6) 郷土天文館「タイムドーム明石」収蔵品データベースの公開 [決算額 8,802千円]

郷土天文館が所蔵する収蔵資料約23,000点(歴史・民俗資料約11,000点、考古資料約12,000点)をデータベース化し、これまで特別展等でしか人の目に触れることがなかった収蔵資料を平成23年4月1日からホームページで広く一般に公開した。

* 国際・地域間交流

(1) 東根市友好都市提携20周年記念事業 [決算額 1,556千円]

平成3年の山形県東根市との友好都市提携から20周年を迎えたことを記念して、両都市で行われる各種行事への参加を通じて、両都市の一層の友好と親善を深めた。

東根市訪問 平成23年8月11日～12日

ひがしね祭に参加し、中央区太鼓連盟が太鼓演奏を披露した。

東根市来訪 平成23年8月27日

大江戸まつり盆おどり大会に参加し、東根市の「よさこい櫓会」が踊りを披露した。

(2) サザランド市姉妹都市提携20周年記念事業 [決算額 23,743千円]

平成3年のオーストラリア・サザランド市との姉妹都市提携から20周年を迎えたことを記念して、相互に訪問交流を行い、両都市の一層の友好と親善を深めた。

また、市民レベルでの交流を図るとともに、オーストラリアにおける男女共同参画の取組を学び、今後の地域活動に生かすことを目的として女性の海外研修を実施した。

サザランド市来訪	平成23年10月13日～15日
	表敬訪問、歓迎会、区内視察等を行った。
サザランド市訪問	平成23年12月15日～19日
	表敬訪問、歓迎会、市内視察等を行った。
女性の海外研修	平成23年11月14日～20日
研修生	10人
訪問先	サザランド市、シドニー市

* 平和

(1) 平和の都市（まち）の楽しい集い [決算額 9,177千円]

中央区は、昭和63年3月15日に平和都市であることを宣言した。

この宣言の趣旨を普及させるとともに、平和の大切さを区民に訴えるため、「平和の都市（まち）の楽しい集い」を開催した。

開催日	平成24年3月15日
実施場所	銀座ブロッサム（中央会館）ホール
内容	ポピュラーコンサート 「つなげよう みんなの絆！ 広げよう 心の輪！」 出演者：谷村新司 ゲスト：谷村詩織、佃中学校合唱部
前売入場券発売数	880枚
当日入場者数	864人

(2) 映像による戦災体験等の証言データ収集 [決算額 1,366千円]

戦後65年以上が経過し、戦災体験を次世代へと語り継いでいくことが困難となる中で、戦災体験者の証言を映像に記録し、平和であることの大切さ・尊さを再認識するとともに次世代へ伝えていくための資料を制作した。

戦災体験談の映像制作	7名分
平成21年度から平成23年度までの証言内容をまとめた総集編DVD制作	

(3) 平和モニュメントの設置

[決算額 6,102千円]

「中央区平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、「平和」への理解を一層深めるための契機として、「平和を願い核兵器のない世界の実現」をテーマに区内全小学校の児童が原画を描き、福祉センターに通う障害のある方々の協力により制作した平和モニュメントを月島第二児童公園内に設置した。

設置場所 月島第二児童公園内「平和の広場」

制作面数 8基16面

完成披露式典 平成23年8月9日

4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

○ 新たな課題への対応

(1) 地上デジタルテレビ放送への移行対策 [決算額 144,902千円]

ケーブルテレビ視聴に係る区民の負担軽減を図るため、ケーブルテレビ事業者に対し、ケーブルの維持管理経費の一部を助成した。また、地上デジタルテレビ放送視聴に関する相談に対応するため、ケーブルテレビ事業者内に「地デジ相談ダイヤル」を設置した。

(2) 地デジアンテナ設置費助成 [決算額 2,678千円]

ケーブルテレビ幹線が整備できない地区における地上デジタルテレビ放送への円滑な移行を図るため、区内でケーブルテレビ事業を展開している事業者を通じ、アンテナ設置費の助成を行った。

アンテナ設置費助成 7件

(3) 「区のおしらせ中央」および「区議会だより」のコンビニエンスストア・地下鉄駅での配布 [決算額 129千円]

「区のおしらせ中央」および「区議会だより」の入手機会の拡大を図るため、区内の一部のコンビニエンスストア（56店舗）および地下鉄駅（東京メトロ東銀座・人形町・月島駅）で広報紙の配布を開始した。

(4) 「労働スクエア東京」跡地複合施設整備 [決算額 69,123千円]

京橋図書館の移転整備を中心に周辺施設の再編を行い、「労働スクエア東京」跡地を文化・生涯学習の拠点施設として整備する基本コンセプトと整備スケジュールを取りまとめた。

施設の基本設計着手にあたり、図書館機能を核に「郷土資料館機能」、「生涯学習機能」、「文化・国際交流機能」を融合させるとともに、いきいき館（敬老館）を設ける基本コンセプトや管理運営の方向性、レイアウトなどを示す基本構想（仮称：中央区生涯学習交流館本の森ちゅうおう）を策定した。

なお、用地取得に向けては、所有者である東京都と具体的な手続きについて調整を行っている。

○ 緊急な課題への対応

(1) 緊急雇用創出事業

[決算額 86,981千円]

雇用情勢の悪化を受け、さらなる雇用の創出を図るため、都の補助金を活用して緊急雇用創出事業を実施した。

① 企業におけるワーク・ライフ・バランス推進調査

(決算額 3,833千円)

本区の実情に応じた事業展開を図るため、区内企業におけるワーク・ライフ・バランスに対する認識、取組意欲等について調査した。

新規雇用者数	14人（従事者16人）
調査対象	常時雇用する従業員数5人以上の区内事業所 2,000社
調査期間	平成23年6月28日～7月15日
回収数	938社（回答率39.1%）

② 商店街周遊マップの作成

(決算額 19,018千円)

区内のまち歩きに必要な情報（ショッピング、食事、観光スポット等）を掲載した周遊マップを新規雇用者を採用し作成することで、就業支援を行うとともに、区民および来街者の回遊性と観光案内機能を強化し、本区の商業振興および観光振興を図った。

新規雇用者数	10人（従事者10人）
--------	-------------

③ 未就職学卒者の就労支援事業

(決算額 48,921千円)

人材派遣会社等において、未就職学卒者に対し社会人として必要な基礎知識や技術を習得するための研修を実施するとともに、求人を希望する事業所で体験就業を行うなど、若年者の就業を支援した。

応募者	118名
採用者数	25名
区内就業者数	18名

④ 路上弁当販売監視指導

(決算額 6,175千円)

東京都食品製造業等取締条例に定めるルールを守らない路上での弁当販売に対し、警察等関係機関と連携を図りながら、監視を行うため「路上弁当販売監視員」を配置した。

新規雇用者数	11人（従事者16人）
巡回場所	20カ所（京橋地区 7カ所、日本橋地区 11カ所、月島地区 2カ所）
巡回体制	週2日（2人×3班×延101日）
実施期間	平成23年4月～平成24年3月
注意指導	6,231件

⑤ 駅周辺等放置自転車の整理 (決算額 7,175千円)

区内12鉄道駅周辺道路および1公園の放置自転車整理業務を行った。

新規雇用者数	16人 (従事者16人)
対象箇所	京橋駅、築地駅、新富町駅、宝町駅、築地市場駅、小伝馬町駅、 茅場町駅、東日本橋駅、馬喰横山駅、浜町駅、月島駅、勝どき駅、 浜町公園
整理台数	366,306台

⑥ 街路樹点検調査 (決算額 1,859千円)

倒木等による被害の防止を図るため、区内の街路樹の健全度調査を実施した。

新規雇用者数	4人 (従事者5人)
調査対象	区道街路樹 6,588本

(2) 東日本大震災被災地への支援 [決算額 63,329千円]

東日本大震災による被災地へ職員の派遣や物品の支援等を行った。

ア 職員派遣

23区全体による職員派遣のほか、宮城県石巻市に対して本区独自に職員派遣を行った。

派遣先自治体	石巻市、仙台市、気仙沼市、南三陸町、浪江町、檜葉町
派遣人数	延217人
主な業務内容	被災者生活再建支援制度に関する業務、建物被害状況調査

イ 物資支援

震災発生後直ちに岩手県および福島県に支援物資を提供するとともに、その後は、各被災地の要望に応じて物資支援を行った。

物資支援先自治体	福島県、岩手県、大船渡市、陸前高田市、石巻市、仙台市
主な支援物資	・レトルトカレー 10,924食 ・マジックライス 10,000食 ・カップ麺 20,000食 ・スコップ 200本 ・土のう袋 10,500枚 ・レインスーツ 2,020着 ・肌着 4,780着 ・歯ブラシ 6,000本

ウ 石巻市「川開き祭り」への協賛

東日本大震災で亡くなられた方の供養と復興への願いを込めて石巻市で開催された「川開き祭り」に協賛金を提供した。

開催日	平成23年7月31日供養祭	8月1日本祭 (花火大会)
-----	---------------	---------------

(3) 震災被災者への就労支援等 [決算額 4,409千円]

宮城県石巻市への復興支援の一環として、平成23年3月11日に石巻市民であった方で、東日本大震災により就職内定を取り消された高等学校・大学等の平成23年3月卒業者および被災により大学等への進学をあきらめた方を対象に、非常勤職員の募集を行い、申込みのあった方を平成23年度に限り雇用した。また、雇用した職員への生活支援として職員住宅を貸与し、生活必需品を提供した。

雇用人数 1名

雇用期間 平成23年6月1日～平成24年3月31日

(4) 築地場外市場地区における被災地復興支援事業に対する助成 [決算額 18,694千円]

築地場外市場地区において、東日本大震災による被災者等を支援する事業を行う団体に対し、当該事業に係る経費の一部を助成した。

助成団体および金額

特定非営利活動法人 築地食のまちづくり協議会 18,694千円

(5) 区内共通飲食券事業補助 [決算額 64,465千円]

東日本大震災の影響により、区内では卸売・小売業に次ぐ産業である飲食業の売上げが減少する中、「食」を目的とした来街者の増加によるまちの活性化を図るため、区内共通飲食券事業実行委員会が実施する「ハッピー食事券」の発行事業に対して補助金を交付した。

発行総額 2億4千万円

(6) 復興支援イベント補助 [決算額 35,807千円]

区内商店街または商工観光団体等が、東日本大震災で被災した地域の復興を支援するため、地域の特産品の販売や伝統芸能の出演など新たに実施するイベント事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助件数 商店街主催事業 9件

商工観光団体等主催事業 3件

(7) 放射線環境測定調査

[決算額 6,656千円]

放射線による健康不安を解消するため、区内3カ所の定点で区職員が空間放射線量を測定するとともに、区民を対象に放射線測定器の貸出を行った。また、屋外にプールがある区立小・中学校についてはプール水を、区立公園については土壌の放射能測定を実施した。

さらに、区内小売店に流通している食品については、区民が日常的に摂取する食品等を中心にモニタリング検査を行った。

ア 空間放射線量の測定

実施日 平成23年6月23日以降、土・日・祝日を除く毎日

測定結果 (平均値)

あかつき公園 0.08マイクロシーベルト/時

堀留児童公園 0.09マイクロシーベルト/時

月島第一児童公園 0.08マイクロシーベルト/時

イ 放射線測定器の貸出実績

貸出開始 平成23年11月1日から

貸出件数 216件

ウ 区立小・中学校屋外プール水の放射能測定

実施日 平成23年6月27日、8月10日

対象 区立小学校12校、区立中学校4校

検査項目 ヨウ素131、セシウム134、セシウム137

(検出下限値：10ベクレル/kg)

検査結果 すべて不検出

エ 区立公園での土壌の放射能測定

実施日 平成23年7月26日、10月26日、12月1日、平成24年3月7日

対象 あかつき公園、堀留児童公園、月島第一児童公園

検査項目 ヨウ素131、セシウム134、セシウム137

(検出下限値：10ベクレル/kg)

検査結果 各地点において検出された検査項目の最小値、最大値

ヨウ素 不検出

セシウム134 36~100ベクレル/kg

セシウム137 45~130ベクレル/kg

(土壌中放射性セシウムの上限値 5,000ベクレル/kg)

オ 区内流通食品の放射性物質の検査

実施日 平成24年1月26日、2月1日、2月15日、3月1日、3月12日

対象 区内小売店に流通している食品を中心に100検体

検査項目	ヨウ素131、セシウム134、セシウム137 (検出下限値：5ベクレル/kg)	
検査結果	ヨウ素	すべて不検出
	セシウム134	1検体につき検出 (35ベクレル/kg)
	セシウム137	1検体につき検出 (50ベクレル/kg)
	(検出検体は、いずれも水戻し干しシイタケ)	

(8) **柏学園放射性物質除染工事** [決算額 107,625千円]

福島第一原子力発電所事故に由来する放射性物質の調査および除去対策のため、平成23年11月2日から柏学園の利用を一時休止し、国の定める「除染関係ガイドライン」および柏市の「除染実施計画」に基づき敷地全体の除染工事を行った。

工事期間 平成24年1月25日～3月30日

再開日 平成24年4月16日

(9) **区施設における太陽光発電設備の設置および設置検討調査** [決算額 26,933千円]

区施設に太陽光発電設備を設置するとともに、太陽光発電設備の導入を図るために、区施設の設備設置の可能性や施設の構造耐力の調査を行った。

ア 設置施設

- ・日本橋区民センター 10kw
- ・リサイクルハウス「かざぐるま箱崎町」 5kw

イ 設置検討調査

- ・調査対象 佃中学校ほか64施設

○ 電子区役所の推進

(1) デジタルサイネージの試行導入

[決算額 1,804千円]

区政や地域に関する情報発信手段の多様化および情報の即時性を高めるため、総合スポーツセンターにデジタルサイネージ（電子看板）を試行的に設置した。

設置日 平成24年1月4日

配信情報 広報ビデオ、イベント情報、施設案内、施設予約状況等

○ 区施設の改修等

(1) 中央会館「銀座ブロッサム」

[決算額 38,745千円]

利用者の利便性向上のため、和式トイレの洋式化、温水洗浄器の取付け、ベビーベッド・チェアの設置等を行った。

(2) 浜町会館

[決算額 170,323千円]

施設の老朽化に伴い、外壁改修工事および機械設備整備等の改修工事を行った。

- ・改修期間 平成23年7月～平成24年2月
- ・改修施設

1階	浜町保育園
2階	浜町敬老館
3階	浜町児童館
4階～5階	浜町区民館

(3) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」

[決算額 63,000千円]

施設の老朽化に伴い、平成24年度から大規模改修工事を実施するため、実施設計を行った。